指導と評価の年間計画（シラバス）

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
外国語	コミュニケーション英語Ⅰ	3	第１学年	MY WAY English Communication I WORKBOOK

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・コミュニケーション英語Ⅰは、「話すこと」「書くこと」「聞くこと」「読むこと」というコミュニケーションの土台になる４技能の基礎作りのための授業です。世界のさまざまなトピックを通じて、楽しく英語を学ぶことができます。学んだ構文や表現を使って話したり書いたりする言語活動を多く行い、「英語を使う」感覚を身につけていきましょう。

2 学習の到達目標（CAN-DO リストによる当該学年の４技能の到達目標）

【第１学年】履修科目：「コミュニケーション英語Ⅰ」（３単位）及び「英語表現Ⅰ」（２単位）

主な教材：上記科目の教科書、教科書の内容に関連した別教材

話すこと		書くこと		聞くこと		読むこと	
学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価
・聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、話し合ったり意見の交換をしたりすることができる。 ・事実と意見などを区別して話すことができる。 ・・・・・・・・・・・・・・・など	コミュ英Ⅰ スピーキングテスト スピーチパフォーマンステスト 語表現Ⅰ ライティング	・聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、簡潔に書くことができる。 ・内容の要点を示す語句や文、つながりを示す語句などに注意しながら書くことができる。 ・・・・・・・・・・・・・・など	コミュ英Ⅰ ライティングテスト 定期考査 英語表現Ⅰ ライティングテスト 定期考査	・事物に関する紹介や対話などを聞いて、情報や考えなどの概要をとらえることができる。 ・事物に関する紹介や対話などを聞いて、情報や考えなどの要点や詳細をとらえることができる。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・など	コミュ英Ⅰ リスニングテスト 定期考査	・説明や物語などを読んで、情報や考えなどの概要をとらえることができる。 ・説明や物語などを読んで、情報や考えなどの要点や詳細をとらえることができる。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・

4 学習の活動

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 1 (5時間)	姓名の順、姓の成り立ち、姓のない国など、名前をめぐる世界の状況について学ぶ。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・各国における名前をめぐる事情の違いについて認識を深めさせる。 ・名前と文化の関係を考えさせる。	・パートごとの内容に対する感想や意見について話すためのキーワードをワークシートにメモし、それを参考にしながらペアで伝え合う。	・ペア・ワークにおいて、互いに協力しながら会話を続けている。	・ペアでの言語活動を観察する。 ・ワークシート提出時に内容を取り組み状況の判断材料として活用する。
		「外国語表現の能力」			
		・自分のことを SV/SVO の文型の英文で言うことができる。 ・ある人や物の様子・状態について、SVC の文型の英文で言うことができる。 ・ある出来事について、SVOO の文型の英文で言うことができる。	・各パートの内容を口頭で要約する。	・本課の内容について、英問英答をしたり、知り得た情報を英語で言ったりすることができる。	・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「外国語理解の能力」			
		・姓と名の順序に関する英文を聞き、世界のどの地域のことについて述べられているのかを聞き取ることができる。 ・姓の由来に関する英文を聞き、その具体例を聞き取ることができる。 ・姓のない国や地域に関する英文を聞き、どの国の、何という名前について述べられているのかを聞き取ることができる。	・WORKBOOK を活用して、パートごとに概要を把握する。	・この課で最も強く言おうとしている最後の英文 2 つを聞き取り、日本語で説明することができる。 ・姓と名の順序に関する英文を読み、その内容を短い要約文にまとめることができる。	・定期考査の筆記テストにおいて内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・英語で話す際の姓と名の順序について、自分の考えを述べることができる。	・本文中で用いられている意味や用法を確認する。	・英語圏の国の姓の由来について、さらに深く調べようとする。 ・この課のリーディング・スキルを活用しようとする。	・定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 2 (5時間)	やなせたかしさんがアンパンマンを通して私たちに残したメッセージを通じて、平和について考える。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・真のヒーロー像について考えさせる。 ・平和、幸福について考えさせる。	・セクションごとの内容に対する感想や意見について話すためのキーワードをワークシートにメモし、それを参考にしながらペアで伝え合う。	・ペア・ワークにおいて、互いに協力しながら会話を続けている。	・ペアでの言語活動を観察する。 ・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「外国語表現の能力」			
		・ある人やものの様子・状態について、SVOC の文型の英文で言うことができる。 ・自分の考えや信念について、that 節を含む英文で言うことができる。 ・ある人やものの様子・状態について比較級や最上級で言うことができる。	・各セクションの内容を口頭で要約する。 ・内容の要点をまとめてワークシートに書く。	・本課の内容について、英問英答をしたり、知り得た情報を英語で言ったり、書いたりすることができる。	・ワークシートを提出させ、その内容を取り組み状況の判断材料として活用する。
		「外国語理解の能力」			
		・アンパンマンに関する英文を聞き、アンパンマンが創作されたときのことを聞き取ることができる。 ・やなせさんのヒーロー像に関する英文を聞き、真のヒーローとはどのような人物かを聞き取ることができる。 ・アンパンマンに関する英文を聞き、アンパンマンの特徴とやなせさんが残したメッセージを聞き取ることができる。	・Q&A などにより本文を読み進めながら内容を理解する。	・やなせたかしさんがアンパンマンを創作した背景を聞き取り、アンパンマンに込められたメッセージを日本語で説明することができる	・定期考査の筆記テストにおいて内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・やなせさんが残したメッセージについて、感想を述べることができる。	・本文中で用いられている意味や用法を確認する。	・真のヒーロー像について、自分の考えを述べることができる。 ・この課のリーディング・スキルを活用しようとする。	・定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson　3 （６時間）	オリンピックの歴史（古代・近代）とオリンピックの問題点、その意義について学ぶ。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・オリンピックの基礎知識を学ぶ。 ・オリンピックを通して国際交流への関心を高める。	・セクションごとの内容に対する感想や意見について話すためのキーワードをワークシートにメモし、それを参考にしながらペアで伝え合う。	・本文を読んだ後に，ペアワークを通じて自分の意見を言ったり，相手の発表をしっかり聞こうとしたりする。	・ペアでの言語活動を観察する。 ・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「外国語表現の能力」			
		・ある人や物の様子・状態について、助動詞を含む英文で言うことができる。 ・ある人やものの様子・状態について、受け身で言うことができる。 ・ある人やものの様子・状態について、助動詞のついた受け身で言うことができる。	・各パートの内容を簡潔にまとめて話す／書くことができる。	・自分の好きなオリンピック種目について自分の意見を簡単に書くことができる。	・ワークシートを提出させ、その内容を取り組み状況の判断材料として活用する。
		「外国語理解の能力」			
		・古代オリンピックに関する英文を聞き、その概要を聞き取ることができる。 ・近代オリンピックの始まりとオリンピックシンボルに関する英文を聞き、その概要を聞き取ることができる。 ・オリンピックの問題点とクーベルタンの意見に関する英文を聞き、オリンピックで大切なことについて聞き取ることができる。	・各パートの内容を簡潔にまとめて話す／書くことができる。	・この課で最も強く言おうとしている最後の英文を聞き取り、日本語で説明することができる。	・定期考査の筆記テストにおいて内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・オリンピックで大切なことについて、自分の考えを述べることができる。	・本文中で用いられている意味や用法を確認する。	・オリンピックで行われている国際交流について、さらに深く調べようとする。 ・この課のリーディング・スキルを活用しようとする。	・定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 4 (6時間)	病院に設置されている芸術作品から、人々を癒すことができる芸術の力を学ぶ。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・病院における芸術を鑑賞させる。 ・芸術の効果について考えさせる。	・セクションごとの内容に対する感想や意見について話すためのキーワードをワークシートにメモし、それを参考にしながらペアで伝え合う。	・本文を読んだ後に，ペアワークを通じて自分の意見を言ったり，相手の発表をしっかり聞こうとしたりする。	・ペアでの言語活動を観察する。 ・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「外国語表現の能力」			
		・自分や他者の動作が進行している様子について、進行形で言うことができる。 ・自分や他者の動作の継続・経験・完了について、現在完了形で言うことができる。 ・自分や他者の動作の継続・経験・完了について、過去完了形で言うことができる。	・各パートの内容を簡潔にまとめて話す／書くことができる。	・本課の内容について、英問英答をしたり、知り得た情報を英語で言ったりすることができる。	・ワークシートを提出させ、その内容を取り組み状況の判断材料として活用する。
		「外国語理解の能力」			
		・ホスピタルアートに関する英文を聞き、その役割について聞き取ることができる。 ・銅版画家の山本容子さんに関する英文を聞き、ホスピタルアートに興味を持った理由を聞き取ることができる。 ・スウェーデンのホスピタルアートに関する英文を聞き、それらの特徴を聞き取ることができる。	・各パートの内容を簡潔にまとめて話す／書くことができる。	・ホスピタルアートの役割を聞き取り、日本語で説明することができる。	・定期考査の筆記テストにおいて内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・ホスピタルアートの効果について、自分の考えを述べることができる。	・本文中で用いられている意味や用法を確認する。	・山本容子さんのホスピタルアートの作品について、さらに深く調べようとする。 ・この課のリーディング・スキルを活用しようとする。	・定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 5 (6時間)	世界のさまざまな文字やその成り立ち、書き方について学ぶ。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・世界の言語や文字についての認識を深めさせる。 ・文字を持つ言語と持たない言語の違いについて考えさせる。	・本文を読んだ後に，ペアワークを通じて自分の意見を言ったり，相手の発表をしっかり聞こうとしたりする。	・本文を読んだ後に，ペアワークを通じて自分の意見を言ったり，相手の発表をしっかり聞こうとしたりする。	・ペアでの言語活動を観察する。 ・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「外国語表現の能力」			
		・自分や他者のことについて、動名詞や to 不定詞を含む英文で言うことができる。 ・ある行為の難易度や興味深さ、重要性などについて、<It is ... to 不定詞>の構文で言うことができる。	・各セクションの内容を口頭で要約する。 ・ペアで、メモに基づいて、本文の内容について伝え合う。	・本課の内容について、英問英答をしたり、知り得た情報を英語で言ったりすることができる。	・ワークシートを提出させ、その内容を取り組み状況の判断材料として活用する。
		「外国語理解の能力」			
		・文字の成り立ちに関する英文を聞き、具体例を聞き取ることができる。 ・古代の文字に関する英文を聞き、それらが書かれた場所を聞き取ることができる。 ・文を書く方向に関する英文を聞き、それぞれの書き方の代表言語を聞き取ることができる。 ・文字をめぐる世界の状況に関する英文を聞き、どこの国や地域の、どのような言語について述べられているのかを聞き取ることができる。	・各パートの内容を簡潔にまとめて話す／書くことができる。	・この課で最も強く言おうとしている最後の段落を聞き取り、日本語で説明することができる。	・定期考査の筆記テストにて、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・文字をめぐる世界の状況について、自分の考えを述べることができる。 ・文を書く方向についてさらに深く調べようとする。	・本文中で用いられている意味や用法を確認する。	・エジプトや中国のように、古代の文字を持つ国や地域をほかに調べようとする。 ・この課のリーディング・スキルを活用しようとする。	・定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson　6 (　7時間)	無形文化遺産に登録された和食の特徴について、食文化を守る取り組みについて考える。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・和食の特徴についての説明文を的確に読み取らせる。 ・食の進化と伝統について、考えさせる。	・本文を読んだ後に，ペアワークを通じて自分の意見を言ったり，相手の発表をしっかり聞こうとしたりする。	・本文を読んだ後に，ペアワークを通じて自分の意見を言ったり，相手の発表をしっかり聞こうとしたりする。	・ペアでの言語活動を観察する。 ・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「外国語表現の能力」			
		・ある人やものについての説明を関係代名詞で言うことができる。 ・自分が欲しいものやある人がしたことなどについて、関係代名詞 what を含む英文で言うことができる。 ・ある行為について、SVO1O2(O2 = how to ～)の構文で言うことができる。	・各パートの内容を簡潔にまとめて話す／書くことができる。	・本課の内容について、英問英答をしたり、知り得た情報を英語で言ったりすることができる。	・ワークシートを提出させ、その内容を取り組み状況の判断材料として活用する。
		「外国語理解の能力」			
		・世界の無形文化遺産に関する英文を読み、その内容を短い要約文にまとめることができる。 ・和食に関する英文を聞き、その 4 つの特徴を平易な表にまとめることができる。 ・日本人が普段食べている食事の起源に関する英文を読み、その内容と一致するものを順番に並べかえることができる。	・関連する英語を聞いたり、よんだりして，理解することができる。	・あらかじめ引かれてある斜線(スラッシュ)ごとに意味を確かめながら、英文を読み進めることができる。 ・意味のまとまりを意識しながら、相手に伝わるように音読することができる。	・定期考査の筆記テストにおいて内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・無形文化遺産に登録された食文化ついて、自分の感想を述べることができる。	・本文中で用いられている意味や用法を確認する。	・和食の 4 つの特徴についての例を、さらに深く調べようとする。 ・この課のリーディング・スキルを活用しようとする。	・定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 7 (7時間)	地雷跡地に作られたハーブ畑で、ハーブ製品を作り、ビジネスを始めた篠田ちひろさんの活動について学ぶ。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・地雷問題とその跡地活用について認識を深めさせる。 ・ビジネスを通じての社会貢献について考えさせる。	・本文を読んだ後に，ペアワークを通じて自分の意見を言ったり，相手の発表をしっかり聞こうとしたりする。	・本文を読んだ後に，ペアワークを通じて自分の意見を言ったり，相手の発表をしっかり聞こうとしたりする。	・ペアでの言語活動を観察する。 ・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「外国語表現の能力」			
		・ある人やものについての説明を、分詞の形容詞的用法を含む英文で言うことができる。 ・ある行為をするときの様子・状況について、分詞構文で言うことができる。	・各パートの内容を簡潔にまとめて話す／書くことができる。・各セクションの内容を口頭で要約する。	・本課の内容について、英問英答をしたり、知り得た情報を英語で言ったりすることができる。	・ワークシートを提出させ、その内容を取り組み状況の判断材料として活用する。
		「外国語理解の能力」			
		・篠田ちひろさんがカンボジアに行った理由について知ろうとする。 ・世界の地雷の状況について知り、自分のことばで説明しようとする。 ・篠田さんがハーブに関する知識をどのように得たのかを知ろうとする。 ・篠田さんの夢について、自分のことばでまとめようとする。	・関連する英語を聞いて，理解することができる。	・本課の内容について、英問英答をしたり、知り得た情報を英語で言ったりすることができる。	・定期考査の筆記テストにおいて内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・世界の地雷の状況について、自分の考えを述べることができる。 ・篠田ちひろさんのように、ビジネスを通じて社会貢献をする例をほかに調べようとする。	・本文中で用いられている意味や用法を確認する。	・地雷の跡地の活用方法について、さらに深く調べようとする。 ・この課のリーディング・スキルを活用しようとする。	・定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 8 (8時間)	古代の遺物を通じて、人類の文明について考える。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・未知の物体への興味を持たせる。 ・文明の発達について考えさせる。	・本文を読んだ後に，ペアワークを通じて自分の意見を言ったり，相手の発表をしっかり聞こうとしたりする。	・本文を読んだ後に，ペアワークを通じて自分の意見を言ったり，相手の発表をしっかり聞こうとしたりする。	・グループでの言語活動を観察する。 ・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「外国語表現の能力」			
		・関係副詞 where、when、why を含む英文で言うことができる。 ・ある行為の難易度や興味深さ、重要性などについて、<It is ... that ～> の構文で言うことができる。	・各パートの内容を簡潔にまとめて話す／書くことができる。	・本課の内容について、英問英答したり、知り得た情報を英語で言ったりすることができる。	・ワークシートを提出させ、その内容を取り組み状況の判断材料として活用する。
		「外国語理解の能力」			
		・ダイバーたちが海中で見つけたものやそのときの状況を知ろうとする。 ・発見された謎の物体が、どのような構造になっていたかを理解しようとする。 ・「アンティキテラの機械」の使用目的を推測しようとする。 ・「アンティキテラの機械」について、最新の科学技術が解明したことと、まだ解明されていないことを知ろうとする。	・関連する英語を聞いて，理解することができる。	・遺物の解析を通してわかった古代人の技術力を学び、未解明の部品の働きが何なのか、自分なりに考えをまとめようとする。	・定期考査の筆記テストにおいて内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・「アンティキテラの機械」に関する研究について、自分の考えを述べることができる。	・本文中で用いられている意味や用法を確認する。	・「アンティキテラの機械」について、さらに深く調べようとする。 ・この課のリーディング・スキルを活用しようとする。	・定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 9 (8時間)	セサミストリートを通じて、平等と多様性や各国が抱えている諸状況について学ぶ。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・平等や多様性という概念を理解させる。 ・各国が抱えている諸状況について認識を深めさせる。	・本文を読んだ後に，ペアワークを通じて自分の意見を言ったり，相手の発表をしっかり聞こうとしたりする。	・本文を読んだ後に，ペアワークを通じて自分の意見を言ったり，相手の発表をしっかり聞こうとしたりする。	・グループでの言語活動を観察する。 ・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「外国語表現の能力」			
		・ある条件が満たされれば起こることがらについて、if節を含む英文で言うことができる。 ・現在の事実に反することや実現の可能性が低いことがらについて、仮定法過去を含む英文で言うことができる。 ・<I wish>や<as if>を含む英文で言うことができる。	・本文中の表現を他の表現で言い換えたり，紙面中の写真・イラスト等を英語で説明したりすることができる。	・本課の内容について、英問英答したり、知り得た情報を英語で言ったりすることができる。	・ワークシートを提出させ、その内容を取り組み状況の判断材料として活用する。
		「外国語理解の能力」			
		・世界各国で放送されているセサミストリートにはそれぞれ特徴があることを知ろうとする。 ・セサミストリートが多様性と平等性というメッセージを大切にしていることを理解しようとする。 ・南アフリカ版や中南米版独自の登場人物の存在を知り、それぞれの特徴を理解しようとする。	・ 関連する英語を聞いて，理解することができる。	・さまざまなセサミストリートに共通するメッセージについて、自分の考えをまとめようとする。	・定期考査の筆記テストにおいて内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・世界各国に独自のセサミストリートがあることについて、自分の意見を述べることができる。 ・セサミストリートが大切にしている多様性と平等性について、さらに深く調べようとする。	・本文中で用いられている意味や用法を確認する。	・ここで紹介されていない国や地域におけるセサミストリートの特徴について、調べようとする。 ・この課のリーディング・スキルを活用しようとする。	・定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 10 (８時間)	ビアトリクス・ポターの生き方を学び、環境保護について考える。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・ポターの湖水地方への思いを的確に読み取らせる。 ・環境保護のために自分にできることを考えさせる。	・本文を読んだ後に，ペアワークを通じて自分の意見を言ったり，相手の発表をしっかり聞こうとしたりする。	・本文を読んだ後に，ペアワークを通じて自分の意見を言ったり，相手の発表をしっかり聞こうとしたりする。	・グループでの言語活動を観察する。 ・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「外国語表現の能力」			
		・<S+want+O+to 不定詞>の構文、<S+V+O+～ing [原形不定詞]>の構文、<S+ask+O+if～>の構文を含む英文を言うことができる。 ・ある人にさせたかったり、させてあげたいことがらについて、使役動詞を含む英文で言うことができる。	・各パートの内容を簡潔にまとめて話す／書くことができる。	・本課の内容について、英問英答したり、知り得た情報を英語で言ったりすることができる。 ・１学年で学習した文法事項を用いて，正しい文を書くことができる。	・ワークシートを提出させ、その内容を取り組み状況の判断材料として活用する。
		「外国語理解の能力」			
		・ポターの子ども時代に関する英文を聞き、湖水地方に行った理由を聞き取ることができる。 ・湖水地方に起こった危機に関する英文を聞き、ポターがなぜ環境保護に興味を持ったのかを聞き取ることができる。 ・ポターがどのように湖水地方を守ろうとしたのかを聞き取ることができる。 ・ポターが残したものに関する英文を聞き、現在の湖水地方の状況を聞き取ることができる。	・関連する英語を聞いて，理解することができる。	・この課で最も強く言おうとしている最後の段落を聞き取り、日本語で説明することができる。	・定期考査の筆記テストにおいて内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・環境保護への取り組みについて、自分の意見を述べることができる。	・本文中で用いられている意味や用法を確認する。	・ポターが守ろうとした湖水地方とはどのような場所か、調べようとする。 ・この課のリーディング・スキルを活用しようとする。	・定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。